

編修趣意書

教育基本法との対照表

※受理番号	学校	教科	種目	学年
30-120	小学校	国語科	書写	第5学年
※発行者の番号・略称	※教科書の記号・番号	※教科書名		
38 光村	書写 504	書写 五年		

1. 編修の基本方針

「書くことで、つながろう。」

書くことで伝え合う喜び。学んだことが日常に生きていく実感。文字の歴史や書の文化に触れる楽しさ。

「書く」ことは、学校生活や日常生活、友達や地域社会、文字の歴史や文化など、さまざまなものとの「つながり」を生みだします。書くことで広がる子どもたちの日常に思いを馳せながら、私たちは、この教科書を編修しました。

1 書く楽しさや達成感が感じられる

——「楽しい!」「おもしろい!」が、学ぶ意欲を高めます。

文字を書く楽しさや喜びを体感できるように、児童が主体的に取り組める言語活動を提示しました。また、学習の前後での自己の変容を実感することで、達成感を感じられるように、学習内容を焦点化し、「何を学ぶのか」「何ができるようになったのか」が明確に分かる構成としました。

2 「書く力」が、無理なく身につく

——「文字を上手に書きたい」という、児童の願いに応えます。

すべての学習要素を効果的に学習できるように、書写要素を精選し、6年間で無理なく身につけられるよう、発達段階に応じて段階的・系統的に教材を配列しました。また、児童が主体的に課題発見・課題解決ができるように学習の流れを明確にし、場面や状況に応じて適切に書く能力を育むことをめざしました。

3 学んだことが、日常に生きる

——「書写は何に生かせるのだろうか?」という疑問に答えます。

児童が必然性をもって学習できるよう、日常生活とのつながりを実感できるような学習活動を設定しました。さらに、書写で身につけた力が国語科や他教科、日常生活でも生きて働くよう教材化を工夫し、書写で学習したことを実感できる構成にしました。



1

書く楽しさや達成感が感じられる

——「楽しい!」「おもしろい!」が、学ぶ意欲を高めます。

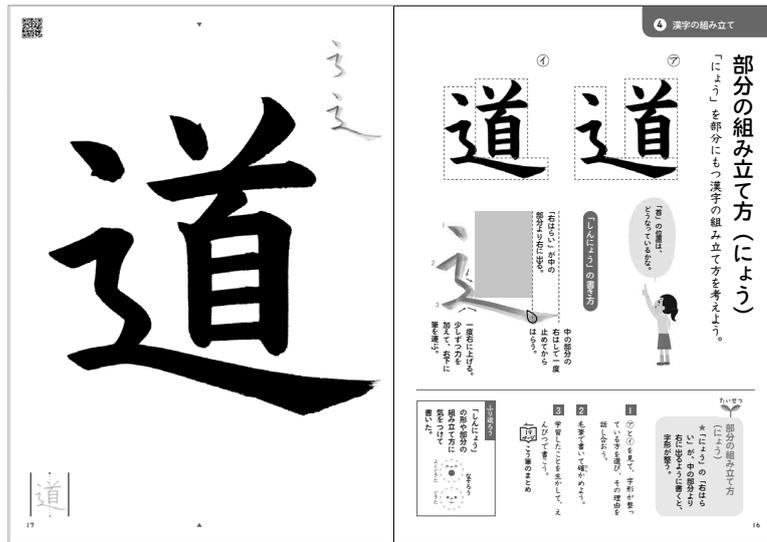
主体的に取り組める言語活動を提示しました。

文字の配列や漢字の部分の組み立てを学習する第5学年では、観察や比較を通して、児童が主体的に文字の整え方の原理・原則を発見する活動を積極的に取り入れました。

【動物キャラクター】
筆使いや運筆のリズムを体の動きで表現します。



【子どもキャラクター】
児童とともに成長し、課題解決や着想のヒントを与えます。



p.16-17 「部分の組み立て方(ように)」

バランスの違う二つの「道」を比較して、ように部分をにもつ漢字の組み立て方を学びます。

学習内容を焦点化し、達成感の得られる構成としました。

教材単位で学習が完結する、1教材1単元構成を採用。「何を学ぶか」「何ができるようになったか」が分かるよう、「教材名＝書写の学習要素」とし、全教材の末尾に自己評価欄「ふり返ろう」を設けました。「書けた!」「書き方が分かった!」という達成感が、学習への意欲をさらに高めます。

「文字のおもしろさ」を感じられる教材が豊富です。

文字への興味・関心が高まるよう、漢字の成り立ちを楽しいイラストで解説する「漢字図鑑」を全学年に位置づけました。発達段階に応じて、低学年では象形文字、中学年では指事文字・会意文字、高学年では会意文字・形声文字を取り上げています。

さらに、第5学年では、児童が日頃書いている仮名を見直すきっかけになるよう、「平仮名や片仮名の筆使い」を設け、仮名の毛筆教材と字源を併せて掲載しました。



p.31 「漢字図かん」



p.14 「平仮名や片仮名の筆使い」

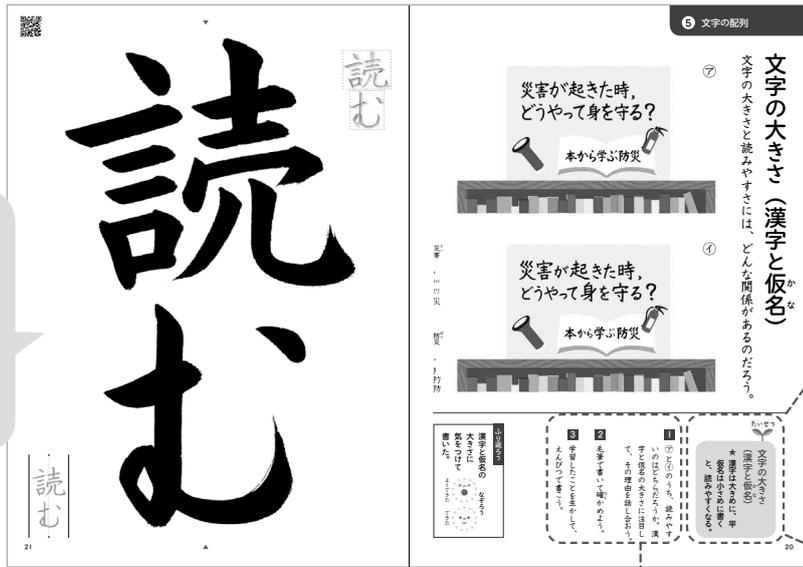
2

「書く力」が、無理なく身につく

— 「文字を上手に書きたい」という、児童の願いに応えます。

何を学ぶかが、ひと目で分かる構成にしました。

各教材を、見開きまたは1ページ構成とし、シンプルで分かりやすい紙面を実現しました。スモールステップを積み重ねることで、着実に基礎・基本を身につけることができます。また、全教材に学習のポイントがひと目で分かる「たいせつ」を設定しました。



毛筆の教材文字は、左ページに大きくすっきりと示しました。128%に拡大すると、半紙と同じ大きさになります。

p.20-21 「文字の大きさ (漢字と仮名)」



★ 文字の大きさ (漢字と仮名)
漢字は大きめに、平仮名は小さめに書くと、読みやすくなる。

「たいせつ」

- ① 考えよう (整った文字の書き方を考える)
- ② 確かめよう (書き方を確かめて、毛筆で書く)
- ③ 生かそう (学習したことを生かして書く)

各教材に「学習の進め方」を示すことで、児童が見通しをもちながら、主体的に授業に臨めるよう配慮しました。

姿勢・筆記具の持ち方を、繰り返し確認することができます。

各学年の巻頭に、姿勢と筆記具の持ち方を確認する場を設け、繰り返し定着を図れるよう工夫しました。他のページとはレイアウトを区別した「いつも気をつけよう」にまとめることで、必要な時に参照しやすいようにしました。



p.4 「書くときのしせい」

姿勢や筆記具の持ち方のポイントを確認する「唱え歌」を作成しました。

3

学んだことが、日常に生きる

——「書写は何に生かせるのだろうか?」という疑問に答えます。

日常とのつながりが実感できる教材を設定しました。

児童が書写学習に親しみをもち、文字を書く意欲を喚起できるよう、教材として提示する語句や文章は、児童の日常生活や他教科の学習内容から幅広く取り上げました。



[日常生活から]



p.22「めざせ! 新聞記者」

[他教科の学習内容から]



p.32-33「書きぞめ」

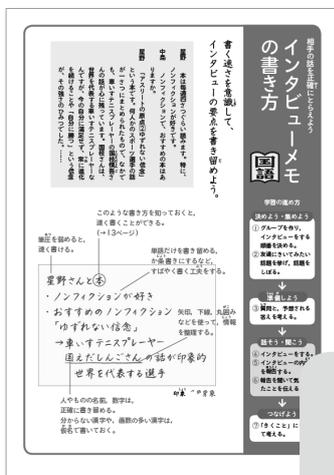


p.38「英語で書いてみよう」

書写での学習を他教科に生かす橋渡しとなる教材を、各学年に設けました。

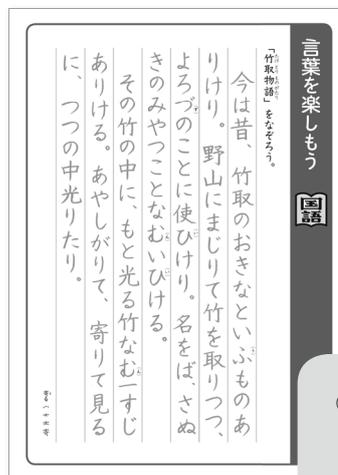
国語教科書と連動させて学習することができます。

国語教科書と連動できる教材を、各学年に二つ以上設定しました。国語と一体的に扱うことで、学習活動に必然性が生まれ、単元全体の配当時数にも余裕が生まれます。



p.12「インタビューメモの書き方」

①国語教科書と学習内容・題材・学習時期が一致した教材です。書写ならではの書き方のポイントを付しました。



p.30「言葉を楽しもう」

②国語教科書に掲載されている物語や短歌・俳句を、書いて味わう教材です。

2. 対照表

[第5学年]

図書の構成・内容		特に意を用いた点や特色	該当頁
こんなことはないかな		5年生で学習する「用紙に対する文字の大きさや配列」を意識できるようなイラストを示すことで、幅広い知識と教養を身に付けるために、児童の知的好奇心を刺激し、興味・関心をもって学習できるよう配慮した。【第一号】	表2-1
いついそいそ	学習の進め方／用具の準備／用具のかたづけ	1年間で学習していく要素を一覧にすることで、児童自身が身につける幅広い知識と教養を理解し、真理を求める態度を養うことができるよう配慮した。【第一号】 伝統と文化を尊重し、それらをはぐくんできた我が国と郷土を愛するとともに、他国を尊重するために、毛筆学習に必要な用具の名称と正しい扱い方を提示した。【第五号】	2-3
	書くときのしせい／筆の持ち方	3年生までに学習した、正しい姿勢を身に付け、鉛筆や毛筆の正しい持ち方と動かし方を習得し、漢字の基本点画を繰り返し学習することにより、文字を書くことの喜びや楽しさを体感し、健やかな身体を養うことができるよう配慮した。【第一号】	4-5
字の形	点画のつながりと字形	主体的な学習活動を通して、判断力や真理を求める態度を養えるよう、各教材のリード文は児童自らが考え課題発見できるような表現にした。【第一号】	6-7
	筆順と字形	書写の学習をサポートするため、日常生活とのつながりを実感できるイラストを随所に設定するとともに、児童それぞれにさまざまな気付きがあることを知り、また友達どうしで学習内容を確認めたり学習成果を認め合ったりしてお互いを尊重しながら創造性を養うことができるよう配慮した。【第二号】	8-9
書くときの速さの速さ	書くときの速さ	全編を通して男女の平等に配慮し、写真やイラスト等に学習上の偏りがないように留意した。【第三号】	10-11
	インタビューメモの書き方（国語）	国語科の教材として、インタビューメモの書き方を扱うことによって、判断力や真理を求める態度を養うことができるよう配慮した。【第一号】	12
	【もっと知りたい】漢字のいろいろな書き方	漢字の色々な書き方を理解したり、毛筆の平仮名を字源とともに示すことでその成り立ちを知ることによって、古の人々の営みに想いを馳せながら、生命を尊び、自然を大切に、環境の保全に寄与する態度を養うことができるよう配慮した。【第四号】	13
	平仮名や片仮名の筆使い		14-15
漢字の組み立て	部分の組み立て方（にょう）	主体的な学習活動を通して、判断力や真理を求める態度を養えるよう、各教材のリード文は児童自らが考え課題発見できるような表現にした。【第一号】	16-18
	こう筆のまとめ	書写の学習をサポートするため、日常生活とのつながりを実感できるイラストを随所に設定するとともに、児童それぞれにさまざまな気付きがあることを知り、また友達どうしで学習内容を確認めたり学習成果を認め合ったりしてお互いを尊重しながら創造性を養うことができるよう配慮した。【第二号】	19
文字の配列	文字の大きさ（漢字と仮名）		20-21
	めざせ！ 新聞記者		22-25
	手書きの力／【もっと知りたい】手書き文字と活字	公共の精神に基づき、主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与する態度を養うために、児童の日常に活かせる取り組みとした新聞教材や、手書きの力にも配慮した壁新聞を取り上げた。【第三号】	26-27
	用紙に合った文字の大きさ	主体的な学習活動を通して、判断力や真理を求める態度を養えるよう、各教材のリード文は児童自らが考え課題発見できるような表現にした。【第一号】	28-29
	言葉を楽しもう（国語）／漢字図かん	漢字の成り立ちを知ることによって、古の人々の営みに想いを馳せながら、生命を尊び、自然を大切に、環境の保全に寄与する態度を養うことができるよう配慮した。【第四号】	30-31
まとめ	書きぞめ	書き初め教材を設定することで、伝統と文化を尊重し、我が国と郷土を愛することについて児童が意識をもてるよう配慮した。【第五号】	32-33
	五年生のまとめ	また既習事項を繰り返し教材化することで、児童の理解を深め、個人の価値を尊重し、創造性を培い、自主及び自律の精神を養うことができるよう配慮した。【第二号】	34-35
	六年生を送る会に向けて	これまでに学習したことを生かして六年生を送る会を準備することにより、主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与する態度を養うことができるよう配慮した。【第三号】	36-37
	英語で書いてみよう（英語）	名刺を横書きの英語で作ってみることで、幅広い知識と教養を身につけるとともに、興味・関心をもって学習できるよう配慮した。【第一号】	38
	【やってみよう】聞き手を夢中にさせよう		39
	「たいせつ」のまとめ	1年間で学習した要素を一覧にすることで、児童自身が身につけた幅広い知識と教養を理解し、真理を求める態度を養うことができるよう配慮した。【第一号】	40-41
	空に大きく書こう	毛筆学習に通じる技能として、硬筆とは異なる空書きを習得することにより、文字を書くことの楽しさを体感するだけでなく、健やかな身体を養うことができるよう配慮した。【第一号】	55
資料	手紙の書き方／はがきの表書き／都道府県漢字	公共の精神に基づき、主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与する態度を養うために、児童の日常に活かせる教材に配慮した。【第三号】	42-44
	平仮名／片仮名／ローマ字	「平仮名・片仮名」と「ローマ字表」を同時に一覧で示すことにより、幅広い知識と教養を身につけるとともに、興味・関心をもって学習できるよう配慮した。【第一号】	45
	四年生で学習した漢字（202字）	主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与する態度を養えるよう、4年生で学習した漢字を再掲載し、5年生で学習する漢字は硬筆と毛筆を掲載し、文字を正しく整えて書くことができるよう配慮した。【第三号】	46-47
	五年生で学習する漢字（193字）		48-50
	書きぞめ	書き初め教材を設定することで、伝統と文化を尊重し、我が国と郷土を愛することについて児童が意識をもてるよう配慮した。【第五号】	51-54

3. 上記の記載事項以外に特に意を用いた点や特色

すべての児童にとって使いやすく、わかりやすい教科書を実現しました。

特別支援教育の専門家から校閲を受け、情報を精選し、大切なことがひと目で分かる、すっきりとしたレイアウトを実現しました。また、カラーユニバーサルデザインの専門家から校閲を受け、文字や図表などに複数の色を用いるときは、だれもが明確に識別できる色の組み合わせになるよう配慮しました。

編修趣意書

学習指導要領との対照表， 配当授業時数表

※受理番号	学校	教科	種目	学年
30-120	小学校	国語科	書写	第5学年
※発行者の番号・略称	※教科書の記号・番号	※教科書名		
38 光村	書写 504	書写 五年		

1. 編修上特に意を用いた点や特色

1 学んだことが， 日常に生きる。

—— 社会にひらかれた書写教科書をめざしました。

友人や家族・学校や地域社会とのつながりが見える教材を 位置づけしました。

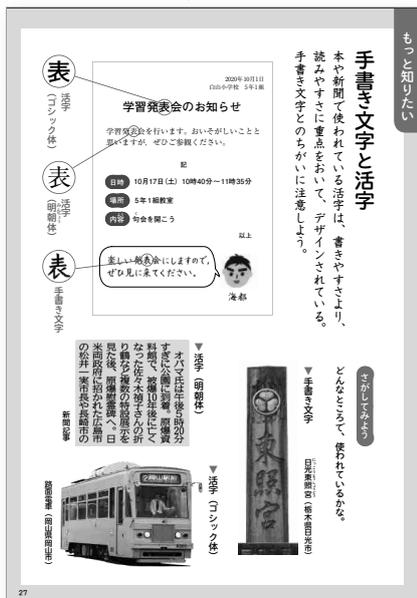
高学年には，児童の日常生活や他教科の学習内容から幅広く取材した教材を豊富に位置づけ，学習したことを，自分や社会と結びつけて深く理解し，日常に活かせるように配慮しました。

活字と手書き文字の字体の違いを説明する教材では，身の回りのさまざまな文字の例を取り上げました。

新聞制作を題材に，読みやすさについて考える教材です。



p.22-23「めざせ！ 新聞記者」



p.27「手書き文字と活字」



p.26「手書きの力」

東日本大震災直後に発行された壁新聞を題材に，手書きの力について考える教材です。



2

学習の流れが、分かりやすい。

— 「学びやすい、教えやすい教科書」をめざしました。

「文字の整え方」を学び、日常に生かすことができる構成です。

各教材は、課題解決型学習を想定して構成しました。課題発見から解決までのプロセスを通して、書写の原理・原則を主体的に学び取ると同時に、思考力・判断力・表現力を養えるよう配慮しました。

2 字の形

筆順と字形
筆順と字形には、どんな関係があるのだろうか。

「たいせつ」は、先に書いておくと書きやすい。

「たいせつ」は、先に書いておくと書きやすい。

1 ○は、点画のつながりや字形の始筆に書く。

2 毛筆で書いてみる。

3 学習したことを、生かして書く。

「たいせつ」は、先に書いておくと書きやすい。

「たいせつ」は、先に書いておくと書きやすい。

文字の整え方を学び、いろいろな文字に応用できる「書く力」を育みます。

各教材に、「学習の進め方」を示しました。

1 考えよう(導入)

観察や比較を通して、原理・原則を発見する。
「教材名・課題」

2 確かめよう(理解・確認)

「たいせつ」で、原理・原則を理解する。
毛筆で書いて原理・原則を確かめ、
技能を習得する。

3 生かそう(活用)

日常の文字に生かす手がかりとする。
「硬筆のまとめ・ふり返ろう」

p.8-9「筆順と字形」

巻頭にも「学習の進め方」を設け、書写の時間に「何を、どう学ぶか」がひと目で分かるように写真で示しました。



学習の進め方

1 考えよう

整った文字の書き方を考えよう。

文字をなぞってみよう。



友達と話し合おう。



2 確かめよう

書き方を確かめて、毛筆で書こう。

点画のつながりや字形
★ ほんを、次の画の始筆になく気持ちで書くと、字形が整う。

「たいせつ」で、大事なことを確かめよう。

筆で書こう。



書いた文字を確かめよう。



3 生かそう

学習したことを、生かして書こう。

えんぴつで書こう。



けい示物を作ろう。



p.2-3「学習の進め方」

教科書の特徴

[第5学年]

教育基本法の遵守	<ul style="list-style-type: none"> ・書写の学習を通して幅広い知識・教養を身につけるとともに、書写で培った「正しく整えて文字を書く力」を他教科や日常の言語生活で生かす態度を育成できるよう配慮しました。 ・知識・技能を習得し、課題解決を行う過程で、「思考力・判断力・表現力」や「学びに向かう力」など、「生きる力」を支える能力を養えるよう配慮しました。
学習指導要領の遵守	<ul style="list-style-type: none"> ・学習指導要領に示された「我が国の言語文化に関する事項」の「書写」の指導を全て網羅できるように単元・教材を作成しました。 ・毛筆を扱う際には、教材文字と同じ学習要素をもつ硬筆課題を教材内や「硬筆のまとめ」(p.19)に設け、毛筆で学習したことが硬筆に生きるよう工夫しました。 ・都道府県に用いる漢字25字が第4学年に担当されたことを受け、都道府県名漢字を手書きで掲載(p.44)しました。
内容と系統	<ul style="list-style-type: none"> ・低・中・高の各学年段階で求められる「書く力」を確実に身につけられるよう、基礎的・基本的な知識・技能を系統的に位置づけ、習得と活用を繰り返しながら螺旋的に高められるよう工夫しました。 ・全教材に、学習のポイントがひと目で分かる「たいせつ」を、巻末には「『たいせつ』のまとめ」を設け、「書く力」が確実に定着するよう工夫しました。
配列・分量	<ul style="list-style-type: none"> ・1教材1目標とし、その教材で扱う要素を焦点化することで、学習のねらいが明確になり、効果的に力をつけられるよう配慮しました。 ・各教材は、1考えよう(原理・原則の発見)→2確かめよう(書いて原理・原則を確かめる)→3生かそう(日常の文字に生かす・振り返り)という展開が、ひと目で分かる構成にしました。
主体的・対話的で深い学びへの対応	<ul style="list-style-type: none"> ・見通しをもって主体的に学習に取り組めるよう、全教材に「学習の進め方」(1考えよう→2確かめよう→3生かそう)を示しました。巻頭ページでは、学習の進め方を写真で分かりやすく示しました。 ・課題解決型学習を行っていくなかで、対話を通して学習を深められるよう配慮しました。
教材の選定	<ul style="list-style-type: none"> ・硬筆・毛筆とも、学習指導要領の「学年別漢字配当表」に準拠しつつ、小学生にとって学びやすい文字を採用しました。書写の基礎・基本を押さえるのに適しているだけでなく、「国語科書写」として、児童の感性を高められるすぐれた言葉や文章を選びました。
伝統・文化の取り上げ方	<ul style="list-style-type: none"> ・書き初めや、漢字の成り立ちをコラムで掲示するなど、伝統的な言語文化への理解を深められるよう配慮しました。 ・国語教科書に掲載された物語や短歌・俳句のなぞり書き教材として、「言葉を楽しもう」を全学年に位置づけました。
今日的課題への対応	<ul style="list-style-type: none"> ・「手書きの力」(p.26)では、東日本大震災の翌日に発行された手書きの壁新聞を取り上げるなど、防災・安全への意識を高められるよう配慮しました。 ・国枝慎吾選手(p.12「インタビューメモの書き方」)や桐生祥秀選手(p.23「めざせ! 新聞記者」)を話題に挙げることで、2020年に東京オリンピック・パラリンピックを目前にした児童にとって、親しみのもてる教材となるよう配慮しました。
他教科や実生活との関連	<ul style="list-style-type: none"> ・各学年に国語との関連教材を2か所以上設け、言語活動(話すこと・聞くこと／書くこと)を通して、日常生活に生きて働く書写の知識・技能を習得できるよう工夫しました。 ・英語との関連教材を設けるなど、教科横断的な学習が充実するよう配慮しました。
道徳との関連	<ul style="list-style-type: none"> ・全学年に書き初め教材を設置し、優れた伝統の継承と新しい文化の創造に貢献するための素地を培えるよう配慮しました。 ・「英語で書いてみよう」(p.38)では、英語で名刺を書く活動を取り上げ、異文化を理解し、世界の人と協力しあうことの価値が実感できるよう工夫しました。
家庭や地域社会との連携	<ul style="list-style-type: none"> ・「めざせ! 新聞記者」(p.22~)では、北海道の歴史について調べた例として、アイヌの文化についてまとめた新聞を取り上げるなど、家庭や地域社会との連携に配慮しました。
特別支援教育・ユニバーサルデザイン	<ul style="list-style-type: none"> ・すべての児童が学習に集中できるよう、大切なことがひと目でわかる、すっきりとした紙面構成を実現しました。 ・複数の色を組み合わせるときには、色覚の多様性に配慮し、誰もが識別できる配色を採用しました。
文字・印刷・製本	<ul style="list-style-type: none"> ・環境への配慮から、再生紙・植物油インキを用いています。 ・強度が高く、鉛筆で書きやすい用紙を開発し、採用しました。 ・針金を3か所に施した中綴じ製本で、長期の使用に耐えられるよう配慮しました。

2. 対照表

[第 5 学年]

図書の構成・内容	学習指導要領の内容			該当ページ	配 当 時 数	
	【知識及び技能】		その他の指導事項			
	(3) エの事項	(1) の事項				
こんなことはないかな	(ア)			表2-1	適宜	
① いつも 気が つけよう	学習の進め方／用具の準備／用具のかたづけ	(ア)・(イ)・(ウ)		2-3	適宜	
	書くときのしせい／筆の持ち方	(イ)		4-5		
② 字の 形	点画のつながりと字形	(イ)		6-7	毛3～4	
	筆順と字形	(イ)	エ	8-9	毛3～4	
③ 書く とき の 速 さ	書くときの速さ	(ア)	ウ・エ	10-11	硬1	
	インタビューメモの書き方 〈国語〉	(ア)	ウ・エ	A (1) ア (2) イ	12	硬1
	【もっと知りたい】漢字のいろいろな書き方	(ア)	エ		13	適宜
	平仮名や片仮名の筆使い	(イ)	* (3) ウ		14-15	毛2
④ 漢 字 の 組 み 立 て	部分の組み立て方 (にょう)	(イ)	エ	16-18	毛4	
	こう筆のまとめ	(ア)	エ	19	適宜	
⑤ 文 字 の 配 列	文字の大きさ (漢字と仮名)	(ア)・(イ)	ウ・エ	20-21	硬1/毛2	
	めざせ! 新聞記者	(ア)・(ウ)	ウ・エ * (2) イ	B (1) ウ・オ (2) ア・ウ	22-25	硬2～3/ 毛0～1
	手書きの力／【もっと知りたい】手書き文字と活字	(ウ)	エ		26-27	硬1
	用紙に合った文字の大きさ	(ア)・(イ)	エ		28-29	毛3
	言葉を楽しもう 〈国語〉／漢字図かん	(ア)	ウ・エ * (3) ア・ウ		30-31	硬1/適宜
⑥ ま と め	書きぞめ	(ア)・(イ)・(ウ)	エ	32-33	毛5～6	
	五年生のまとめ	(ア)・(イ)・(ウ)	ウ・エ	34-35	毛3	
	六年生を送る会に向けて	(ア)・(イ)・(ウ)	ウ・エ	B (1) オ (2) ウ	36-37	硬1～2/ 毛0～1
	英語で書いてみよう 〈英語〉	(ア)・(ウ)			38	適宜
	【やってみよう】聞き手を夢中にさせよう	(ア)・(ウ)	ウ・エ * (2) ア・イ	A (1) ア・イ B (1) ウ・エ (2) ア・ウ	39	適宜
	「たいせつ」のまとめ	(ア)・(イ)・(ウ)			40-41	適宜
	空に大きく書こう	(イ)	エ		55	適宜
資 料	手紙の書き方／はがきの表書き／都道府県漢字	(ア)・(ウ)	ウ・エ	B (1) ウ・オ	42-44	適宜
	平仮名／片仮名／ローマ字	(ア)	ウ		45	
	四年生で学習した漢字 (202字)	(ア)	エ		46-47	
	五年生で学習する漢字 (193字)	(ア)・(イ)	エ		48-50	
	書きぞめ	(ア)・(イ)・(ウ)	ウ・エ		51-54	
				合計時数	30～35	